

2320 | 版画研究 I

2 単位 (面接授業 2 単位)

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

授業の概要と目標

版表現では、平、凸、凹、孔、の形式がある。それぞれ性質を異にするものであるが、版という共通の概念で結ばれている。

授業は面接授業のみで行い、「木版」か「リトグラフ」のどちらかを選択し、版種の特性と表現の関係を体感しながら、その基本技法を習得する。また、「版」を用いることで造形的課題を明確にする。

課題の概要

○面接授業課題「技法と表現の発展①」

1-1 「木版」「リトグラフ」のどちらかを選択し、基本技法を習得しながら制作をする。

・「木版」イメージサイズ：22.5cm × 30cm

・「リトグラフ」：イメージサイズ：30 × 40cm 程度

授業計画

[面接授業]

・「木版」または「リトグラフ」(選択)

第1日 午前：前提講義及び制作 午後：制作

第2～5日 午前：制作 午後：制作

第6日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

面接授業の総合評価

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 「版画I」の単位を修得していること。

[備考] スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある

教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012年）